

花あかり

心に残る絵の中で
遠くの山はただの闇で
その向こうはまるで目のような月
こちらを見るその下
迫ってくる花あかりの
その中の顔迫ってくる

君はこれまでの
中で何ができたのか
ちゃんとやって
自分に嘘はついてないか

少しだけの光の中
藍色の空に負けないで
静寂を突き抜ける輝き
全てを忘れただけ見つめる
けむくじらの妖怪が
そうこちらに迫ってくる

そして立て肘付き
問いかけてくる
素直になって
自分に嘘はついてないか

君は生きてるのでなく
生かされている
人生の歩み歩むのでなく
歩まされている